

令和3年度 第1回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	令和3年7月7日（水）午後1時30分より
開催場所	健康文化センター 1階 多目的室
出席者名	議会議員代表 3名 民生委員・児童委員代表 3名 私立保育園法人代表 1名 保護者代表 7名 事務局 9名
次 第	1 委員長挨拶 2 自己紹介 3 協議事項 (1) 令和3年度保育所運営費の概要について（資料No. 1） (2) 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について 新型コロナウイルス感染予防対策について（資料No. 2） (3) 令和3年度の保育所運営について ・園児数（資料No. 3） ・年間計画（資料No. 4-1～4-5） (4) 各保育園の取組みについて 毎日家庭で行える子育て3か条について（資料No. 5） 保育園パンフレット（資料No. 6-1～6-4） 4 その他

（進行：福祉こども課長）

委員長	1 委員長挨拶 2 自己紹介（紙面上にて確認）
-----	--------------------------------

（進行：委員長）

事務局	3 協議事項 （1）令和3年度保育所運営費の概要について （資料No. 1） 令和3年度保育所運営費の予算
-----	---

支出総額：7億7,037万9千円 収入総額：1億8,932万円
差引額=町負担分 5億8,105万9千円

(支出について)

- ・報酬、給料、職員手当等、共済費、賃金、旅費等職員に係る経費については、令和2年度から保育士臨時職員という形が会計年度任用職員という一般職の地方公務員という身分に定められたことに伴い、期末手当等の支給が始まる。今年度はその期末手当が満額支給になるので、例年と比べ、職員に係る経費が増額という形で計上してある。
- ・役務費について主なものとして、保育士の人材確保を目的に、人材紹介を利用して保育士採用を予定しており、採用となった場合には推定年収に紹介手数料を乗じた手数料を支払うために計上している。今年度、2名の職員採用決定をした。
- ・委託料の主なものとしては、大口中保育園の人件費や運営に係る事業費や管理費を支払うための民間保育所運営費委託料及び民間保育所補助金、新たなものとして各保育園のオムツ処理の委託料、南保育園の電気設備取り換え工事により排出される PCB 含有物を産業廃棄物として処理するための委託料が計上されている。
- ・工事請負費の主なものとして、南保育園の電気設備取り換え工事で排出される PCB 産業廃棄物は使用が禁止されており、令和4年3月31日までに廃棄物処理をする必要があるために、機器を取り換える工事が計上されている。
- ・負担金補助及び交付金の主なものとして、大口中保育園に対しての人件費、委託料で賄いきれない部分の民間保育所補助金、空調設備の改修工事に対しての補助として、民間保育所施設整備等補助金があげられている。

(収入について)

- ・主なものとして幼児教育保育無償化や大口中保育園に係る経費の補助等国・県からの歳入が1億162万6千円、保護者の皆様にお支払いいただいている保育料が6,109万9千円、延長保育を利用される方が支払う延長保育料や年少児以上の方にお支払いいただく副食代等が2,659万5千円となっている。
- ・一人あたりの費用額は、令和3年4月1日現在の園児数を基に年間利用延べ人数をだし、支出総額を延べ人数で割ったものである。1人当たり100,309円となり、そのうち町負担分が75,658円で全体の75.4%占めている。また、保護者の皆様にお支払いいただいている保育料が7,955円で全体の7.9%となっている。幼児教育保育無償化に伴い、保護者の皆様の負担が減り、町負担が増えた傾向がでている。

<p>保育長</p>	<p>(2) 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について (資料No.2)</p> <p>昨年度マニュアル化した新型コロナウイルス感染予防対策を再度見直して感染予防に努めている。</p> <p>主な変更点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食・おやつ後も手洗いをを行うことにし、石鹸での手洗いは常時とする。 ・コードレス紫外線除菌器を使用し、より効率的に消毒をしている。昨年度より使用していたが、マニュアルにのせていなかったため、より意識して行うということで載せた。 ・給食及びおやつ時の対応で、パーテーションを使用して、飛沫予防に努めている。これも使用していたが、意識づけのために載せた。 <p>受け入れや、毎日の保育活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言発出中は、人の出入りを遮断するために、登降園の受け入れは玄関で行った。 ・講師を招いての保育活動(英語で遊ぼう等)は、延期とした。 ・年中児の保育参観、引き渡し訓練(公立保育園)を延期した。 <p>新しい生活様式が習慣になってきた。今後も新しい生活様式を取り入れた行事を心がけていく。日にちの分散や人数制限等をして対応していきたいと思う。蔓延防止等重点措置も解除されたが、まだまだ感染状況に気を付けなければいけない状態は続いていくと思われる。対応策について引き続き、ご理解いただくようお願いしたい。保育士も預かったお子さんを感染症から守るという強い意識をもって保育をおこなっていくことが続くと思う。子ども達もマスク・手洗い・消毒の習慣が身に付き、子ども達なりに一生懸命取り組んでおり、今後もみんなと一緒に感染防止に努めていきたいと思う。</p>
<p>私立保育園 法人代表</p>	<p>大口町長並びに大口町役場の方に、大口町在住者のみならず、すべての保育関係者に優先的にワクチン接種を受ける機会を設けていただき感謝している。豊橋の保育園で園児が陽性者となったときに、お知らせと同時に人権を配慮していただく旨の文書を出したが、問い合わせが多く入った。予防接種もまだ行われていなかった時期であり、過激な問い合わせもあった。自制心をもって接していただきたいと思う。</p>
<p>南保育園 父母の会会長</p>	<p>保育園の対策については、十分やっただいていると思っている。大変になるとわかっている玄関での子ども達の受け渡し等感謝している。対策をそ</p>

<p>西保育園 父母の会会長</p>	<p>れだけしっかりしているのだったら、保育参観等1名限定ではなく、せめて夫婦での参観ができたらいいと思う。</p> <p>保育園の対応には感謝しかない。看護師が細目に消毒をしている姿を見かけたり、送迎時に使用するボールペンをアルコール綿で消毒できるように準備してあるなど、安全な保育をしていただき、安心して仕事に行くことができています。会議の資料で、机や玩具の消毒などをしてもらっていることがわかり、感謝の気持ちでいっぱいである。</p> <p>(3)「令和3年度保育所運営について」</p>
<p>保育長</p>	<p>・園児数の説明（資料No.3）</p> <p>令和3年度6月1日の園児数は、定員790名のところ、659名の在籍。内訳として、南保育園120名で8クラス、西保育園209名で11クラス、北保育園172名で9クラス、大口中保育園158名で9クラスの運営をしている。今後、育児休業明けで仕事復帰される方のお子さんの途中入所児等、現段階で31名の入所予定児がいる。合わせると、現在で年度内690名ほどの園児数になる予定である。また、今後、毎月の入園審査会を経て、保育の必要性を認定し、入所案内させていただく。</p> <p>職員数については、南保育園30名、西保育園52名、北保育園45名、大口中保育園36名で保育を行っている。園長、副園長、各担任保育士の他に、加配保育士、週休・休憩対応などの保育士の他、調理員、管理栄養士、看護師、事務員も必要に応じて配置しており、大勢の専門職員で大事なお子様をお預かりしている。途中入所児を含む園児数の配置となっている。</p> <p>資料下段に、令和元年と2年の6月1日現在の園児数を載せてあるので、参考にさせていただきたい。</p> <p>・年間計画表について（資料No.4-1）</p> <p>入園進級式に配布した「今年のあゆみ」年間計画表である。保護者の方は、すでにご覧になっていると思うが、主たる行事を載せさせてもらっている。行事は、発表ということではなく、保育の一環として行っている。お子さんの様子を見ていただき、一緒に成長発達を喜び合う場としていただきたいと思います。現段階での、変更予定の箇所を説明させていただく。</p> <p>5月の緊急事態宣言発出に伴い、行事の延期をした。延期した行事は7月以降実施していく。園ごとにご案内させていただく。内科検診、歯科検診以下の行事はこのまま行う予定である。保護者の方に参加していただく行事には○</p>

	<p>印をつけてあるので、参考にさせていただきたい。</p> <p>下段に、年次ごとの帽子の色、右側に園生活の一日の流れを載せてあるので、こちらも参考にさせていただきたい。</p> <p>資料No.4-2から4-5までは、園ごとの年間計画となっている。より細かく載せてある。保護者の方一人一人にお伝えすることになっている。新型コロナウイルス感染状況によっては、やむをえず延期や変更、中止の場合もあるので、ご承知おきいただきたい。</p> <p>保育園の紹介パネルを貼ってあるので、よろしければ見て行っていただきたいと思う。</p>
<p>議会議員代表</p>	<p>きめ細かに計画を立ててもらっている。帰りに、園の紹介パネルを見せてもらうのを楽しみにしている。</p>
	<p>(4) 各保育園の取組みについて</p>
<p>保育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎日家庭で行える子育て3か条について」(資料No.5) <p>保育園と幼稚園の先生で作成した幼児用の大口町子育て3か条で、学校用の子育て10か条をもとに作成したものである。毎年入園進級式で保護者にお渡しする書類の中に入っている。子どもに関わる大人すべてが、元気な挨拶をして、目を見ての会話、スキンシップを大切に、家庭と保育園が手を取り合い、一緒に子育てに取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>南保育園園長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各保育園の取組みについて <p>南保育園 (資料No.6-1)</p> <p>南保育園は、7月現在3歳未満児31名、3歳以上児90名、合計121名のお子さんをお預かりしている。</p> <p>園の周りは田畑に囲まれ、田植えや稲刈りなどの四季折々の風景がよく見える。また、キジやサギを身近で見ることができるなど、自然環境にとっても恵まれている。保育目標「豊かな心と丈夫なからだでよく遊ぶ子ども」を基に、友達と集団で過ごす中で互いに育ち合える場として、また、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、様々な体験を通して豊かな心を育む保育を目指している。</p> <p>感染リスクを減らすために、年次ごとで交代に戸外へ出るなど、時間的な制限はあるが、広い園庭を走ったり、ジャングルジム、登り棒、滑り台、八角塔、雲梯、鉄棒、パンプリング、ブランコなど、沢山ある固定遊具で伸び伸び遊ぶ中で、年齢に応じた体と心の豊かさを育てていきたいと考えている。遊具を使って「登る」「滑り降りる」「ぶら下がる」「乗り越える」「揺れる」という</p>

西保育園園長

様々な動きを経験する中で、バランス感覚が養われ、挑戦する心が育っていく。「一人でできた」という達成感、充実感を味わい、自信に繋げていきたい。

南保育園のSDGsの取り組みとして、「質の高い教育をみんなに」と「住み続けられるまちづくりを」の二つを目標にしている。特色ある活動の一つである『郷土を愛する心を育む活動』で、毎年、大口町歴史民俗資料館の学芸員の方に、大口町の南部地域にまつわる話を聞き、映像や写真を見せてもらった後、実際に現地に行って話を聞いている。学芸員の方から、保育園での学びが小学校での学びに繋がっているという話を聞き、子どもたちが、住んでいる町を知り、郷土を愛する心を育てているという実感が持てている。昨年度までに培ってきた内容に加えて、大口町やSDGsにまつわるクイズやゲームで遊ぶ計画をしている。子どもたちが、自分たちの住んでいるまちを楽しく知ることができるように、お散歩マップの作成にも取り組んでいる。

その他、南食育サポートの方との『食育交流事業』もご指導をいただきながら、引き続き行っている。先日もじゃがいも掘りを年長・年中児が体験し、年少児が見学に来て、じゃがいもを手にして歓声を上げていた。収穫できた野菜を給食の食材に取り入れ「食べる喜び」「人や物への感謝」の気持ちを育てていきたいと考えている。

地域交流や、絵本の読み聞かせなど、毎年継続して行ってきたことが、昨年度よりコロナ禍の状況でなかなか計画できず残念に思っている。その中で、地域・保護者への発信する機会を設けて、子どもたちの健やかな育ちを支える保育を継続するための取り組みを進めていきたいと思っている。

西保育園 (資料No.6-2)

町立西保育園は 7月7日現在で、3歳未満児84名 3歳以上児130名 合計214名の子どもたちをお預かりしている。今年度も依然と新型コロナウイルス感染症が感染拡大しているが、感染対策を十分にしながら、また、ご家庭のご協力ご理解をいただきながら過ごしている。今年度が始まり3か月が経った。子ども同士のかかわりも増え、子どもたちの元気な声が園内に響き、賑やかな日々を過ごしている。

保育目標「豊かな心と丈夫な体でよくあそぶ子ども」を基に、一人一人の気持ちに寄り添い、様々な経験を通して豊かな心を育む保育を目指しており、3歳未満児から5歳児の発達に応じた目標の中で、「食育・木育・体力づくり」の3つの柱を主な取り組みとして進めている。また、今年度は日々の保育の中で、SDGs持続可能な開発目標を意識しながら進めていくことにした。

食育について

西保育園には、地域の方からお借りしている大きな畑があり、9名の食育サ

ポートの方々のお力を借りながら、四季折々の野菜の栽培活動を行っている。西保育園周辺の地域柄、土に触れる体験がないであろう子どもたちにとっては、野菜を育て収穫し、収穫した野菜をいただくという体験は貴重なものになっている。今年度も夏野菜が豊作である。キュウリ・ナス・ピーマン・トマトが給食の食材として使われている。食育サポートの方々と一緒に世話をして育てた野菜は格別のおいしさである。大事に育てた野菜の命をいただくこと、食育サポートさんに感謝の気持ちをもつこと、野菜の旬を知ることにもつながっている。

このような「食」の大切さについての学びの体験を生かし、「子どもたちが食事を楽しく残さず食べる」こと、「給食の残食を減らすこと」に取り組みながら、家庭へもつなげていくことを目指し、SDGs：持続可能な開発目標17項目のうちの、目標12番「つくる責任・つかう責任」に取り組んでいくことを宣言することにした。食の大切さについての学びや経験に加え、社会問題に目を向けるきっかけを作ること、さらには家庭へつないでいくことを今年度のゴールと掲げて取り組んでいく。

木育について

木造の園舎や回廊が増築されたことで、木への関心が高まっている。園周辺には白山ふれあいの森があり、散歩に出かけては様々な木を観察している。四季の変化に気づきながら木の実や木の葉を使った自然物を使った遊びも取り入れている。年中ではマイ箸づくりを親子で体験し、物を大切に作る気持ちを育てている。

体力づくりについて

園内の広くて長い回廊や大小2つの山のある芝生の園庭を使って、いろいろな運動遊びを経験していく中で、柔軟な体を作り、心身のたくましさを養っていく。

交流活動としては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動を行っていくには非常に厳しい状況ではあるが、やり方を工夫しながら異年齢児交流・地域交流を行い、優しさ、思いやり・感謝の気持ちが育つように取り組んでいきたいと思っている。また、郷土愛活動では、事前に話をきいて、その後、実際に現地へ行っている。白山ふれあいの森の古墳や徳林寺の山姥物語について知り、自分の住んでいる町に関心を持てるようしている。

このような取り組みで、住んでいる町への関心から愛着につながり、この先もずっと住み続けたい街へ変わっていくことを期待している。

北保育園園長

北保育園（資料No.6-3）

北保育園は7月現在、3歳未満児54名、3歳以上児118名、合計17

2名の子ども達と一緒に生活をしている。

2017年に完成した木造園舎での生活も6年が経ち、今年度7年目を迎えた。未だに訪れた方からは「木のいい香りがしますね」と嬉しいお言葉をいただく。しかし、回廊の外段差などは色があせ、木がささくれているところもある。今までも柱や床などの油拭きを行い、園舎を守ってきたが、今年度はSDGsの取り組みを保育園でも行っていくことになり、北保育園では「園舎を大切にする」という目標を掲げ、SDGs12番の「つくる責任 つかう責任」と15番の「陸の豊かさを守ろう」の取り組みを行っていく。

内容として、「つくる責任 つかう責任」では、建設していただいた園舎を、生活し使っている責任として、「傷んだところはなおす」という園舎のメンテナンスを行っていく。回廊の外段差を子どもたちと一緒にきれいに磨き、紙やすりを掛けてなおしていく。「園舎を大切にする」「いつまでも長く使う」という気持ちを持ちながら行っていく。

「陸の豊かさを守ろう」では、山のない大口町がいろいろなつながりで山とのつながりを持てるようになっていく。建設で木材をいただいたタイム技研さまとのつながり。年長児がタイム技研さま所有の山「21世紀創造の森」に遠足に出かけ、貴重な山の体験をさせていただいている。今後もつなげていきたいつながりだと思っている。園庭にある1本の桜の木、五条川の桜、そして町の花が桜であるという「大口町や桜のつながり」も子どもたちに伝えていく。

それらのつながりから「山や木を知る」強いては「樹、自然、命を大切にすること」を目標に、取り組んでいきたいと思っている。

どちらのSDGsも特別なことではなく、今まで行ってきた木育をSDGsに捉え直したものである。無理をせず自分たちのできることを行っていきたいと思っている。

他の主な取り組みとして、体力作りでは、芝生園庭で、体を十分に動かす「全身運動」、走ったり跳んだりして「足腰を鍛える」ことを目標に子ども達の体力作りに取り組んでいく。また、固定遊具がなくて心配される手や腕を使うこと（握る、引っ張る、支える、押すなど）も、広い回廊や室内を有意義に使い、遊び方を工夫しながら、意識して取り組んでいく。

木育では、SDGsの取り組みに加え、親子マイ箸づくりを行っていく。保護者の方にも木に触れ、共に木育を行っていききたいと思う。

地域交流では、人を思いやる優しい心、人に親しむ心が育つことをねらいとして行っている。今年度は感染対策を考えながら実施方法を工夫して取り組み、少しずつ実施できている。4月にカモミール畑での花摘み、いちご畑でのいちご狩り、夏野菜の苗植え、5月から6月にかけて野菜の収穫などが

大口中保育園
園長

地域の方と行え、交流が持てている。

北保育園ふれあい交流会との交流は、まだ行えていないが、今後、新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、交流できるようになったらと思っている。

今後も新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、できる方法を考え、子どもたちと地域、保護者、保育園がつながり、一緒になって子どもを育てていく「子どもを真ん中においたまちづくり」を目指していきたいと思っている。

大口中保育園 (資料 No. 6—4)

宝光福祉会大口中保育園は令和3年度7月1日現在、3歳以上児122名、3歳未満児37名の合計159名のお子さんをお預かりしている。

「遊びの中からの学び」を保育の柱として、一人一人の主体性を大切にする保育を行っている。子ども達が主体的に生活し、自分からやりたいことを見つけ、意欲的に取り組むことができるように保育室や園庭に色々なコーナーを設置し、自分で活動を選べるように工夫している。時間で区切ることを優先させず、子ども達が遊びに集中する経験や、最後までやり遂げる満足感や達成感を大切にしたいと考え、このような取り組みを行っている。

室内の環境では、ままごとやごっこ遊びができる場、描いたり作ったりする制作の場、ブロック・積み木など構成遊びのできる場、絵本や図鑑が読める場など用意している。

戸外では、衝撃吸収人工芝が敷いてあるエリアに、総合遊具、雲梯や鉄棒などを設置している。園庭には、色水遊び、木の実であそべる場所、砂場の他に、ダイナミックな遊びを展開できる場としてどろんこ遊び専用の場を設けた。暑さ対策として、テントを4基設置し、図鑑見たり、絵本の読み聞かせなども行える場として設けてある。

大口中保育園の周辺には、五条川遊歩道、小口城址公園・多世代が集う憩い広場など、近くに自然が豊富にある。園では主に、午前中の晴れた日には、全園児積極的に散歩に出かけ自然に触れたり、戸外遊びを楽しんでいる。

特色において、特に力を入れて取り組んでいる活動は、体力づくりである。可動式遊具を使い、雲梯・鉄棒・平均台を組み合わせ、毎朝10分間サーキット遊びに取り組んでいる。運動遊びの時は、マスクを着用していないが、昨年のように心拍の上がる動きは避けたり、密集しないように様々な遊びが取り組めるよう場所を確保するなど工夫しながら行っている。

体操教室では、専門指導員による体操・運動遊び・サッカー教室・プール指導の他、日常の保育の中でも年間を通して体力づくりを意識した活動に取り組んでいる。以上児は体操服を導入しており、動きやすさはもちろんのこと、

	<p>子ども達なりに「今から運動するぞ」と心のスイッチが入るようだ。</p> <p>食事について、必要な基本的な習慣や態度を身に付け、楽しい雰囲気の中、色々な食材や料理に触れ、感謝の気持ちをもって味わっている。畑で収穫した野菜等を使ってクッキングをしたり、行事食から文化を感じ取ったりしている。お菓子作りにも挑戦し、日本の文化に触れるきっかけにしたいと年長・年中児を対象に今年度も取り組んでいく。</p> <p>園庭では、年長児が一人一鉢プチトマトを育てている。保護者の方と一緒に成長を楽しんでもらっている。</p> <p>年間行事について、一年を通して様々な行事やイベントがある。保護者の方に参加してもらいイベントから、子ども達に伝統や季節の移り変わりを伝える行事まで、月ごとに季節にちなんだ様々な行事を企画している。行事の多くは子ども達の声を聞き、子ども達自身のやりたいことを実現させたいと考えている。コロナ禍でもできることとして、なるべく大きな集団を作らないことを前提として、今年度の年間計画を立案し、見直しをした。</p> <p>今後も保育室内の換気や手洗い、飛沫感染防止をして、玩具・絵本などの消毒を行い、衛生管理に努め、新型コロナウイルス感染防止を徹底して行い、子ども達が活動できる環境づくりを心がけていきたいと思っている。</p>
<p>南保育園 父母の会会長</p>	<p>南保育園 父母の会の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 父母の会費徴収 ・ バザーを行う代わりにバザー品を回収して、リサイクルショップへ持ち込みその利益を運営費にあてる。 ・ 6月16日 第1回お楽しみ会の予定が、緊急事態宣言発出のため中止 ・ エコキャップ運動の実施 ・ 11月頃 第2回お楽しみ会を検討中 ・ 写真販売に向けて、手間等を含めて検討し、試してみたい。
<p>西保育園 父母の会会長</p>	<p>西保育園 父母の会の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコキャップ運動の実施 ・ 8月5日 オイスカ積み木広場に参加予定 ・ 8月16日～18日 保育園主催の縁日ごっこに参加予定 ・ 運動会、クリスマス会、卒園進級時のプレゼントの準備 ・ 保護者から保育園の様子の写真があるとよいとの声があがり、保育園の了承がいただけた時に写真撮影と販売を行っていく予定。
<p>北保育園</p>	<p>北保育園 父母の会の取組み</p>

<p>父母の会会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、エコキャップ運動の実施（12月までは今年度分。1月からは来年度分とする。） ・4月 父母の会費徴収 ・5月 いちご狩りと夏野菜の苗植えの写真撮影 ・7月 七夕まつりの写真撮影 ・8月 写真販売の予定 ・今年度やりたいことはあるが、どこまでができるのかの線引きがはっきりしておらず、予定が立てられないので返答が欲しいと思う。
<p>大口中保育園 父母の会会長</p>	<p>大口中保育園 父母の会の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 父母の会費徴収 1回目の資源回収 ・今後、2～3回の資源回収を行う予定 ・七夕まつり、運動会、クリスマス会のプレゼントの準備 ・写真販売を保育士と協力して行っていく予定 ・今年度より、畑の管理を役員も一緒に行っていく予定
<p>民生委員・ 児童委員代表</p>	<p>我が子の時に、父母の会役員を引き受けた経験がある。その頃に比べると、お楽しみ会等のイベントが増えてきているように思う。一生懸命やってくださるのはよいが、役員の方の負担が大きいのではないか。子ども達は喜び、見せるもの（テレビ撮影等）も記念にはなるが、連絡や調整等のとりまとめはすごく大変ではないかと感じるので、無理なくやってもらえたらと思う。保育園で十分やってもらっており、新しい生活様式の中でも子ども達の内面は育ってきているので、安心してお任せしてよいのではないかと思う。</p>
<p>議会議員代表</p>	<p>保育士のワクチン接種について、5月に町長の方へ優先接種（キャンセルワクチンを含めて）の話を要望させてもらった。ワクチン接種の状況がわかれば教えていただきたい。</p>
<p>保育長</p>	<p>保育士も住民と一緒に接種していくように計画していただき、公立保育園・大口中保育園・大口幼稚園・ラモーナ幼稚園の保育士接種を進めている。6月7日から一週間で1回目接種を行った。一日30名程度。2回目接種は6月28日から始まり、現在真っ最中である。副反応が出る確率が高いということで、日々の保育業務に支障がないように少人数ずつの接種にしており、体調不良で休む保育士もいるが、業務に支障はなく進めている状況である。</p> <p>4 その他</p>

副委員長	<p>コロナ禍の中、保育園園児・保護者の皆様・保育士の皆様、今まで経験のない大変な中、本当に感謝している。民生委員自主活動の挨拶運動、児童センター・保育園の訪問、高齢者施設・障害者施設への訪問が中止になり、現在何もできない状態である。5月12日は全国民生委員・児童委員の日であり、感染予防対策で、各施設へ手作り雑巾・タオル・ウェットティッシュを配布させてもらった。「かわいい大口町の子どもは大口町で育てる」を目標にしていきたいと思う。</p>
健康福祉部長	閉会の挨拶